

日程 平成 29 年 7 月 16 日~17 日（信越）苗場山

7/16 東京駅=越後湯沢駅=和田小屋－P1703－神楽ヶ峰－苗場山頂－苗場山神社－自然交流センター

撮影者 鈴木(智)



001 和田小屋（登山口）

越後湯沢駅からタクシーで和田小屋迄。出発時点で既に小雨模様だが、苗場山の山頂の広大な景色を胸に、ゲレンデを急登していく。

002 P1703 手前

季節良く次から次に可愛らしい花々が現れる。写真のチングルマだけで無く、イワイチョウ、イワカガミ等。皆で花名当てをしながら進む。



003 苗場山頂手前

水場で休憩した後に少し下ると、霧が一瞬晴れて前方に巨大な姿が現れる。急登が目の前。昼食をして気を入れ直してから出発。

004 苗場山頂

急登を登りきり頂上へ。
山頂付近には雪渓があったが、
傾斜は無く安全に通過。
天気もやや持ち直してひと安心。



005 苗場神社への木道

自然交流センターに寄って荷物を置き苗場神社へ。
ガスが出ていたのだが、一時少し視界がひらけ、池塘を見渡す事ができた。かなり広い不思議な平坦な頂上。
晴天は次回にとっておこう。



006 朝食

今日も雨天予報なので、当初予定の小日橋は目指さずに往路を戻る事に。朝食をゆったり目にとっていると、参加者からスイカの差し入れ！ 重かったでしょう、感謝です。

007 自然交流センター

各自持参の朝食後にさて出発。

自然交流センターは90名以上宿泊できるとの事で、
広くて綺麗な小屋。お礼を言って出発。



008 神楽ヶ峰

この付近はお花畑で、綺麗な花で溢れている。昨日まだ蕾だったニッコウキスゲが、今日は力強く咲いてきている。鮮やかな黄色に感動。

009 下りは違う道で

往路はゲレンデ急登ルートをとったが、復路は最後まで登山道をそのまま降った。復路は雨もほとんど降らず、少し晴天も。無事和田小屋の脇へ出てひと安心。



010 和田小屋

下山の連絡をした後に、タクシーピックアップを和田小屋前で待つ。この小屋は綺麗で自動販売機もあり。苗場山の思いを振り返っているとタクシーが来て、帰路へと。
リーダー、皆様、楽しい山行ありがとうございました。